



足寄町の森林資源(カラマツ)の未利用資源から形成された木質ペレットを燃料とするペレットボイラーを、役場庁舎及び子どもセンターに設置しました。冬期間の暖房として利用し、二酸化炭素削減を図るとともに地球温暖化対策の普及啓発に寄与します。

本プロジェクトにより、持続可能な森林経営の実現を図るとともに、地域の活性化やさらなる低炭素社会の実現に向けた、自治体主体による取り組みの展開を進めていきます。

プロジェクトの実施場所	北海道足寄郡足寄町
削減量(予測)	【発行済】 2008.4月～2011.6月 649t-CO2 【発行予定】 2011年 225t-CO2 2012年 225t-CO2
在庫量	491t-CO2(2012年6月末現在)
クレジットの次回発行予定	未定
1t-CO2あたりの希望単価	要相談

北海道4町協議会(足寄町、下川町、滝上町、美幌町)では、継続的に森林を守り育てていくことを基本に、森林資源の新たな価値の創造を目指した取り組みを進めております。

本プロジェクトで使用する木質ペレットは、足寄町内におけるカラマツ伐採時に発生する林地残材を活用しており、森林資源を有効活用しながら二酸化炭素の削減を行っています。こうしたことから、本J-VERを通じ、各企業様における排出量をオフセットするためにご利用いただくことで、CSR活動や企業イメージの向上が期待されます。

【足寄町の概要】

北海道東部の内陸部に位置した農業を基幹産業とした町です。人口は、約7,900人。

その面積は約1,400km²と、2006年1月までは日本一広い面積でありました。現在でも、市を除く町村の中では日本一広い面積となっています。

足寄町の東に位置する螺湾(らわん)地区に自生する「ラワンブキ」は、「日本一大きなフキ」として全国的にも有名です。



■担当者連絡先

村石 靖 TEL:0156-25-2141

EMAIL: energy@town.ashoro.hokkaido.jp

URL: http://hokkaido-tree.main.jp/4rest/